

第18回 キャリアコンサルティング技能検定2級論述解答例（中里）2017/6/20

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。（20点）

今の会社に入社して営業からずっと願い出していた研修企画部へ異動し、仕事には満足していたのに、急に希望でない部署に異動を言われ困惑している。研修のスペシャリストという思い描いていたキャリアの道が断ち切れ、上司から見放されたと感じるが、今はまだ実績もなく独立もできず、これからどうすればいいのかわからずにいること。

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ（20点）

今回の人事異動の理由を確認することなく、また、自身が期待され必要とされている仕事内容を明確にせず「研修スペシャリストとして適性がないと思われる」との思い込みがあり、自己理解が不十分である。さらに、今ここでの視点でしか仕事を捉えられず、研修講師として独立することを目標に置いたキャリアビジョンの実現に向けたライフキャリアプランが描けていず、仕事に前向きになれずにいること。

問3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標において、②どういうことを実施したいか、あなたの具体的な方策を記述せよ。（60点）

- ① 今までの働き方を振り返り、会社から期待されている内容を確認することで自己価値を見直し、また、研修講師になることを目的とした今後の自身のライフキャリアプランを明確にすることで、自己の目標に向かい前向きにやりがいを感じながら働いていけるよう支援することを目標とする。
- ② 研修講師として活躍したいと思い、6年間、勉強会参加や資格取得など自分なりに努力してきたことを誇る。今まで働いてきた営業と研修企画の職務について棚卸しをする中で、やってきたことなどについて再確認し、立ち上げメンバーのリーダーに選ばれた理由について上司に確認し、自己評価の修正を促す。また、プロジェクトでの仕事内容について、自身が求められ期待されている内容について、上司や人事などに尋ねることで、その経験が将来の自身のキャリアビジョンにどう生きるかを確認していく。さらに、研修講師になることを目標に置いた「短・中期的ライフキャリアプランの作成」を促すことで、目標に向かい自己肯定的な働き方ができるよう支援する。